

「救命の一助」に

夏休み前、水難事故や災害に遭遇したときの救命方法の基礎技術を身に付けようと、7月9日、岩邑中学校2年生47人が普通救命講習Ⅰを受講しました。

生徒らは、岩村消防署救命救急士らの指導の下、心肺蘇生法CPRと、AEDの使用方法を教えられ、真剣に実践練習を繰り返し行いました。学級委員の遠山竜也くんは「もしものときには、習ったことを生かして冷静に対処したい」と、述べました。



心臓マッサージを何度も練習する生徒たち

祖父母から知恵を学ぶ

7月9日、山岡中学校で「おじいさん・おばあさんから学ぶ交流会」が開かれ、同校1年生61人とその祖父母など20人が参加しました。会場は、教室や体育館などいくつかのグループに分かれ、手作りのすごろくやかるたを使って「昔の体験談」や「山岡のいいところはどこ」という、ユニークな質問を投げ掛け、お年寄りらと一緒に楽しみながら、知恵や知識を学びました。また給食を一緒に取った後、マレットゴルフを行って交流を深めました。



ゲームで意気投合し握手を交わす生徒と参加者

少年消防隊、放水始め



放水訓練を行う隊員たち

7月6日、市少年消防隊の第1回目の訓練が恵那消防署と岩村消防署で行われました。

訓練では、火災の仕組みや火災時に発生する煙を想定し、模擬の煙を使用した避難訓練体験、消火器の取り扱い方法、消防車による放水訓練、三角巾を使った外傷の応急手当ての方法などを学びました。岩村消防署では、水平に張られたロープの上を渡る訓練も行われました。今後は、夏休み中に県広域防災センターでの研修が予定されています。

県美術館で山本芳翠を紹介



児童らの劇に見入る観客たち

明智町が生んだ偉大な洋画家、山本芳翠の生涯を、明智小学校4年生が創作劇にしました。

5月18日、同校体育館で一般披露したとき、古川秀昭岐阜県美術館館長の目に留まり、7月6日、岐阜県美術館公演が実現。館長は、「山本芳翠を知りたいという思いや意欲から生まれた劇を、ぜひ、岐阜市で披露したかった。実現できてうれしい」とあいさつ。児童らは大きな声で堂々と演じ、約190人の観客から大きな拍手が送られました。

自主防災隊が地域を救う

地震などの災害時、人命救助などで力を発揮する自主防災隊。市内の各自治会にも、その重要性を理解してもらい、災害に強い町をつくろうと、市自治連合会は、まちづくり市民協会防災研究チームと市役所関係各所と協力し、6月29日、まきがね公園体育館と山岡B&G海洋センター体育館で自治会長研修を行いました。同研修に参加した自治会長の皆さんは、自主防災隊の組織編制や倒壊家屋からの救助訓練、応急手当の方法などを学びました。



AEDの使い方を学ぶ参加者たち

夜回り先生こころの授業

大井町まちづくり協議会子育て部会と大井町青少年育成町民会議は、7月4日、子育てのまちづくりを進めようと、水谷修先生の講演会「夜回り先生こころの授業」を開催しました。「夜回り」と呼ばれる深夜の繁華街パトロールを通して出会ってきた子どもたちの悩みや実態、命を大切に、家族に感謝し、優しい言葉や美しいものに囲まれて暮らすことが、誘惑に負けない強い心をつくることなど、会場に集まった聴衆の心に強く呼び掛けました。



講演を行う水谷修先生

中山道と東海道を全国へ



姉妹提携を喜ぶ可知市長と望月由比町長

中山道の46番目の宿場町にあることで知られる中山道広重美術館と、東海道の16番目の宿場町である静岡県由比町の東海道広重美術館が姉妹提携を結ぶこととなり、6月22日、由比町で姉妹館提携式が行われました。

この提携により、両館の所蔵作品を相互に貸し出すなどの交流促進を図ります。調印後、可知市長は「歌川広重と東海道、中山道の名をさらに全国に広げるきっかけにしたい」とあいさつしました。

天空の里に響く歌声



児童と「ふるさと」を合唱するオユンナさん

「2008天空の里ほたる祭り：オユンナコンサート」が、6月21日の夜に飯地公民館で開催され、大ホールは埋め尽くした観客の熱気であふれました。

オユンナさんは、世界子どもグランプリを受賞した「天の子守唄」など、透き通る歌声で披露しました。また飯地小学校の全校児童35人と合唱では、子どもが大好きなオユンナさんらしく、歌詞の一言ずつを大切に、時おり子どもにマイクを向けながら歌っている姿が印象的でした。

『江戸のヒーロー・ヒロイン』展

中山道広重美術館
企画展覧会

会期
7/24(木) ~ 8/31(日)

開館時間 午前9時半 ~ 午後5時(入館は午後4時半まで)

観覧料 ▷大人 = 500円(団体400円) ▷小・中・高校生 = 無料

毎週月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土日・祝日を除く)休館。

問い合わせ 中山道広重美術館 ☎20 0522



歌川国芳
「木曾街道六十九次之内
武佐 宮本無三四」

大判錦絵 185x 嘉永5年
版元:住吉屋政五郎 当館蔵(田中コレクション)

歌川国芳の「木曾街道六十九次之内」のシリーズは、宿場にちなむ武者絵です。本図は 滋賀県の武佐宿の宿場名にかけて二刀流の達人、宮本武蔵を描いています。武蔵が飛騨のかご渡しにまたがって、ノブスマ(ムササビのような姿をした妖怪)を退治するところです。

第1日曜日は「市民の日」

毎月第1日曜日を「市民の日」とし、観覧料を無料とします。気軽に美術の世界に触れていただき、美術を中心とする文化活動やまちづくり活動の拠点に活用いただけるよう願っています。

文化財を巡る

岩村城跡の基本(その2)

前回に引き続き、岩村城跡にかかわる歴史的、国語的な基本事項を確認します。

日本三大山城と城の標高

岩村城は、日本一標高の高い所にある山城であることから「日本三大山城」の一つにあげられています。これまで岩村城の標高は721mといわれてきましたが、この数値は戦前から使われているもので、その後作成された地図では、林野庁の国有林班図(昭和51年)では716.29m、岩村町が測量会社に委託して作成した本丸・出丸平面図(平成7年)では716.9mの数値が出ています。平成18年には、衛星を利用した測位システム(GPS)による測量を本丸の推定最高所で行ったところ、717.261mという数値が得られました。これらの近年の測量成果を元に、現在の標高は717mとしています。

「日本一標高の高い所にある山城」という説明も追加が必要で、「日本一標高の高い所にある幕末まで存続した山城」となります。中世(鎌倉・室町時代)や戦国時代に築かれ、江戸時代には廃城となった城の中には高所に築かれていたものも多く、最も高所にあると

いわれる山梨県の城の標高は1,500m以上です。

問い合わせ 文化課 ☎43-2112 (内線217)



上空から見た本丸と城下の町並み

おいしい野菜をありがとう

7月14日、恵那北小学校で給食を通した農業生産者と児童との交流事業が行われ、農事組合法人なかのほう不動滝やさいの会の池戸ぬい子代表理事らが同小学校を訪問しました。池戸さんは「育てる苦労と収穫の喜びを知られば必ず野菜が好きになります」などと野菜作りの面白さを伝えました。

この日の献立は夏野菜カレーで、児童たちは満足そうに「おいしい」と言いながら、口いっぱいにして食べていました。



池戸さんの話を熱心に聞く児童たち

心をつなぐ夢のライブ

県クリスタルパーク恵那スケート場にて、初の大規模なコンサートとなった「ラブ・えな・ライブ」が、7月19日に開催されました。主催は「映画づくりを通して恵那市のまちを元気に」と活動している、えな「心の合併」プロジェクト。コンサートの出演者は、このプロジェクトに賛同した中西圭三さんや、恵那市出身者を含む4組のアーティスト。アンコールでは全出演者の共演と花火も重なり、集まった約1,300人の観客は大きな拍手を送りました。



全出演者がアンコールで共演

レジ袋有料化の協定締結



29事業者94店舗が協定を締結

東濃5市で一斉に、10月1日からレジ袋削減(有料化)の取り組みを開始する協定締結式が、7月11日に県恵那総合庁舎で行われました。今回の協定は対象人口約36万人、参加29事業者94店舗で県内でも最大規模。市内では、(株)パロー(3店舗)、ユニー(株)、中部薬品(株)(3店舗)、生活協同組合コープぎふ、J A 東美濃(2店舗)、(株)鈴茂商事(ピーワン)、(株)ジップドラッグが協定を締結。市では引き続き同取り組みに、参加いただける事業者を募集しています。

西中が夕涼みコンサート



恵那西中学校プラスバンド部の演奏

恵那文化センターの中庭で、恵那西中学校プラスバンド部による夕涼みコンサートが開催されました。演奏した7月12日は梅雨の中休みのとても暑い日で、コンサートを開始した夕方は少し暑さも和らぎ、本当の夕涼みコンサートとなりました。

メンバーは、同中学校プラスバンド部員34人と、卒業生2人の応援による総勢36人で編成。「HERO」など難しい楽曲にも挑戦し、集まった観客の前で、重ねてきた練習の成果を披露しました。